

シリーズ①  
平成 18 年度、ここが変わる国民年金！年金制度の改正

# 障害年金の改善

問い合わせ先 菊池市役所市民課 ☎ (25) 1111

## 障害基礎年金と老齢厚生年金・遺族厚生年金の併給

改正前の制度では、1階部分の基礎年金と2階部分の厚生年金の併給は、基本的に同一支給事由のものだけでした。

このため、障害基礎年金の受給権者には、障害を有しながら就労して自ら保険料を納付したことが年金給付に反映されにくい仕組みになっていました。

今日では、障害を有していてもできる限り能力を発揮し、就労できる環境整備に向けた取り組みが進められています。

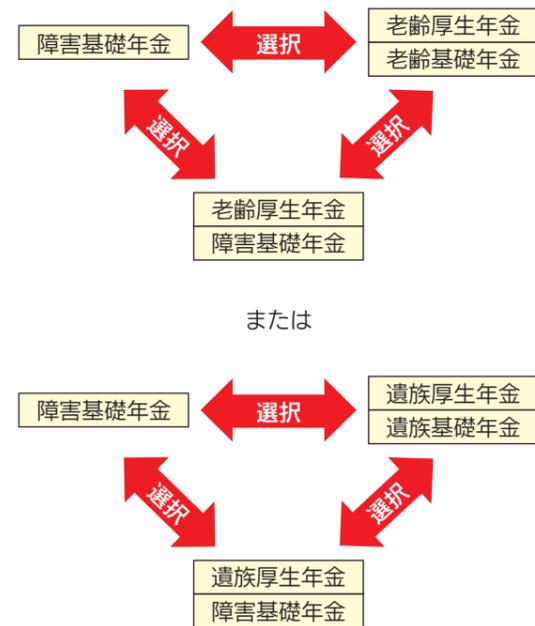
年金制度も、こうしたことに対応して、障害者の就労について年金制度上も評価し、地域での自立した生活を可能とするための経済的基盤を強化する観点から、平成 18 年 4 月からの施行で、現行制度に加え障害基礎年金と老齢厚生年金の併給または障害基礎年金と遺族厚生年金の併給ができるようになりました。

### ※保険料をいかず仕組みに

現役時代に障害基礎年金を受給できる人は、第 1 号被保険者である期間は、国民年金の保険料が免除（法定免除）されるため、65 歳到達時に受給できる老齢基礎年金は低額となる傾向があります。

この老齢基礎年金に厚生年金保険料を支払ったことによる老齢厚生年金を加えても、障害基礎年金の額に満たないケースが多く発生していました。

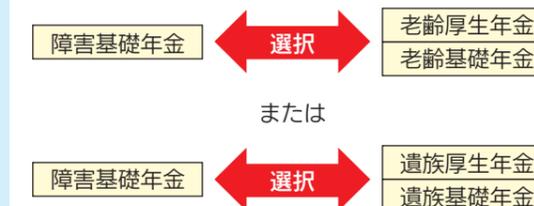
●改正後  
現行の選択に加え、1階の基礎年金部分の選択が可能になり、併せて2階の厚生年金部分との併給ができるようになります。



### ※障害基礎年金の子の加給年金額は支給停止

障害基礎年金と老齢厚生年金の併給が可能となることに伴って、子のある受給権者は、障害基礎年金の子の加算額と老齢厚生年金の子に対する加給年金額とが二重に支給されることになるため、障害基礎年金と老齢厚生年金の併給を選択した場合には、障害基礎年金の子の加算額がある場合、老齢厚生年金の子に対する加給年金額は支給停止されることになります。

●現行  
障害基礎年金か老齢厚生年金 + 老齢基礎年金  
または、遺族厚生年金と遺族基礎年金を選択する。



**平成 18 年度の国民年金保険料**  
平成 17 年度 13,580 円(月額) から、13,860 円(月額) に改定されます。

**4 月は老齢福祉年金の受取月です。**  
老齢福祉年金を受給している皆さん、4 月は証書の提出月です。

4 月期の年金を受け取ったら、年金証書は今回から熊本社会保険事務局へ提出してください。

また、老齢福祉年金と他の公的年金（厚生年金・共済年金・恩給など）を併せて受けている人は、国民年金老齢福祉年金支給停止関係届（他の公的年金の改定通知書の写し添付）を提出してください。

※なお、老齢福祉年金とは明治 44 年 4 月 1 日以前生まれで年金を掛けずに受給している人の年金です。年金証書が緑色で、受取りは各郵便局の窓口で行っています。間違いないようにお願いします。

**問い合わせ先**  
熊本社会保険事務局  
熊本市辛島町 5 番 1 号  
日本生命熊本ビル 6 階  
☎ 096 (211) 1122

## 3月12日(日) 菊池郡市自衛隊入隊者合同激励会

大津町文化ホールで、菊池郡市自衛隊入隊者合同激励会があり、今春入隊する菊池郡市の隊員や家族などが出席し、関係者などから激励を受けました。

式では、入隊者を代表して菊池市の出口雅仁さんが「今後は一社会人として国家公務員として、努力・精進します。今日はありがとうございました」と力強くあいさつしました。

また、自衛隊西部方面音楽隊の演奏もあり、新入隊員は自衛隊員としての自覚をさらに深めました。

菊池市からの新入隊員は、次のとおりです。(敬称略)  
中野雄喜、三木健博、出口恵貴、藤原優也、藤江 宏、平山邦義、岩木文枝、加藤 隆、坂本裕樹、上田寛人、荒木一彦、荒木大輔、小林直記、青木達生、出口雅仁、坂井悟士、三牧司季、後藤隆仁



大津町文化ホールであった激励会に参加した、菊池市の新入隊員たち

## 3月15日(水) 高齢者交通安全アドバイザー委嘱式

高齢者宅などを回る際に、交通安全指導をしてもらおうと、菊池警察署と菊池地区交通安全協会が、菊池市内のケアマネジャーとホームヘルパー 169 人に高齢者交通安全アドバイザーの委嘱をしました。

菊池警察署であった委嘱式には約 40 人が出席し、有働署長から代表者に委嘱状が手渡されました。この取り組みは県内初で、高齢者の交通事故防止などを目的に、アドバイザーが携帯電話に送信される生の情報を基に、高齢者に対して交通事故の発生状況や交通安全の指導や助言をします。

また、同日に同署前に「高齢者の交通事故を防ごう」と書かれた横断幕も設置されました。



有働菊池警察署長(右)から委嘱を受ける代表者(左)

## 3月10日(金)・3月23日(木) 菊池市内の中学校・小学校で卒業証書授与式

3月 10 日(金)に菊池市内の中学校 5 校で、3月 23 日(木)に同じく小学校 14 校で、それぞれ卒業証書授与式があり、中学生 569 人、小学生 542 人が、母校を巣立ちました。

旭志中学校では、紫垣 徹校長から 67 人の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、「皆さんはこの 3 年間で大きく成長しました。最後に 2 つの願いをします。1 つ目は『自分を大切に、夢に向かって生きよう』ということ。2 つ目は『人に感謝する心を忘れずに大切に』ということ。この 2 つを忘れないようにしてください。卒業おめでとう」と校長式辞が述べられると、卒業生たちは最後の言葉を真剣に聞いていました。

水源小学校でも、田吉幸信校長から同じく 14 人の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

在校生が、卒業生の名前を呼びながら「これまで楽しかったです。ありがとうございました。6 年生は私たちの手本でした。皆さんとの思い出を私たちは忘れません」と言葉を送ると、卒業生が「中学校へ行っても、好きな水源小学校のことは忘れません。今までありがとう。そしてさようなら」とお別れの言葉をかけました。



紫垣校長から卒業証書を受け取る旭志中学校の生徒



在校生に向かって、お別れの言葉をかける水源小学校の卒業生たち